

実施日：2021年8月20日（土）18:00~20:00

参加者：20名

学生：11名、現役教員：4名 大学職員：1名 学外関係者：4名

担当：杉山、中澤

■実施場所：奈良公園浮雲園地・東大寺境内・春日野園地

■第3回 早朝の春日山原始林・若草山

2021年8月21日（金）18:00~20:00

概要：夕暮れ時の奈良公園・東大寺二月堂周辺を歩きます。二月堂からの景観や夜の奈良公園を歩き昼間の公園とは異なる奈良公園の魅力を体感します。

18:00 奈良公園・浮雲園地集合

18:10 ナンキンハゼに関する話

18:20 感性の体操

18:30 東大寺境内へ移動（吉城川・南大門・中門：兜跋毘沙門天）

18:50 鐘楼

19:00 二月堂（20分間、会話なしで静かに過ごす）

19:20 移動・月の出を眺める

19:30 移動（手向山八幡～鏡池～春日野園地～休憩所）

19:50 ふりかえり（各自感想）

20:00 解散

#### ■概要報告

夕暮れから夜の東大寺周辺を散策し、千年以上続く境内の夜の空気を味わう機会とした。

主な趣旨が五感を意識して体験することだったため、目を閉じて行う「感性の体操」を冒頭に行った。移動中は、東大寺南大門や鐘楼の大仏様、俊乗堂などにも簡単に触れ、また、南大門では、ムササビの話、鏡池のワタカ、鹿の影響による公園の樹木への影響などについても簡単に説明した。

二月堂においては、日が沈み夜へと移行する時間帯を、一人でじっくり味わうことを目的に、会話をしないというルールを設けた。人と会話をしないことで、二月堂からの景観やお堂の常夜燈など普段はあまり気に留めていない事象に対して、ゆっくり向き合う機会とした。

二月堂から降りると、南東の空に月が出た。満月に近い月であったこと、周辺の街灯も少なかったことから、幻想的な風景を体験することとなった。

その後は、手向山参道でムササビの気配を感じたが、姿を見ることは叶わず鏡池から白蛇川を少し遡り春日野園地へ移動。若草山・春日山・御蓋山に月が昇る風景を楽しみながら、休憩所にて各自の感想を聞き、終了した。

## ■参加した感想

### 学生

- ・嫌なことを忘れられるような癒しの時間だった。
- ・神社をぶらぶらすることはあるが夜はなかなか来れないので新鮮だった。
- ・自然と一体化できる場所は限られるので、お寺や神社でそれを感じられるのは貴重だと感じた。
- ・東大寺は何度来ても飽きない場所だと思った。また昼に仏像を見に来て欲しい。
- ・雨上がりの匂いや音などの体験が新鮮で癒された。

### 現役教員

- ・(大阪から)奈良への遠足を予定している。子供たちは昼の体験となるが、夜の姿は全然違うということ伝えたい。
- ・二月堂の風景を見て「奈良だなあ」と思った。こうした体験は奈良教育大ならではの感じた。
- ・ずっと奈良に住んでいるのだが、こうして二月堂に来たのは初めて。こうした体験を子供達にもさせたい。
- ・二月堂にある神の印が二つあると教わったので次はそれを探したい。

### 学外関係者

- ・静かな二月堂が良かった。
- ・二時間ほどを何も考えずリラックスして過ごせて体が喜んでいる。

## ■写真

		
二月堂からの風景	常夜燈	登廊
		
月の出	月齢 12.5 翌日が満月	休憩所でふりかえり